



## 三巾 隅田川

文化的な絵画様式を保つ一方、人々の日常生活や風物などを多く描いてきた浮世絵。日本を代表する浮世絵師、葛飾北斎が富士山を主題として描いた富嶽三十六景の中で代表的な2つの作品が104cmサイズの大きなふろしきになりました。水しぶきや雲の部分にさりげなくパール加工を施しており、大胆かつ繊細な仕上がりとなっています。タペストリーやテーブルクロスなど装飾用としてはもちろん、バッグとして持ったり大きなギフト、衣類を包むのにご活用いただけます。お土産にもおすすめです。

## 三巾 隅田川

¥2,500(税抜) 約104cm 綿100% 帯付



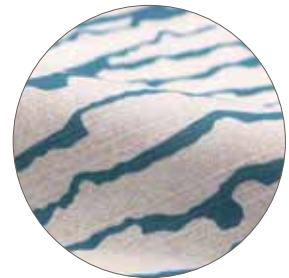
### 凱風快晴 (赤富士)

単純な構図によって富士山の持つ雄大さや神秘性を表現した傑作で、通称「赤富士」とも呼ばれる。赤富士とは、晩夏から初秋にかけて富士山が朝日に染まって起こる現象であり、北斎が意図してその情景を浮世絵として残したかどうかは諸説ある。雪渓の残る富士山やいわし雲に季節感が現れている。

New!



赤富士 コン  
20716-301



※生地表面にパールを施しています。

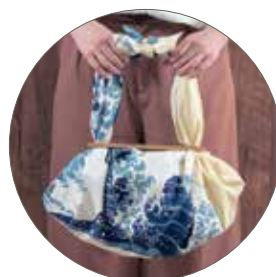
### 神奈川沖波裏

「富嶽三十六景」中の傑作であり、日本芸術の中で最も有名な作品の一つである。激しく生き物のように巨大化し襲い掛かる波に対し、小さく描かれた富士山との静と動、変化と普遍、大小の対比が特徴で、ゴッホやドビュッシーなどヨーロッパの芸術家たちにも影響を与えました。

New!



波裏に富士 ベージュ  
20716-302



※生地表面にパールを施しています。